

支え合いのまち 稲毛

稲毛区地域福祉計画推進協議会だより No. 19

平成27年12月11日発行

編集：稲毛区地域福祉計画推進協議会事務局

稲毛区六川4-12-4（稲毛保健福祉センター内）

TEL：284-6282 FAX：284-6193

稲毛区支え合いのまち推進計画

～第3期稲毛区地域福祉計画（平成27～29年度）～

ZoomUp!

いよいよ平成27年度より三年間の計画でスタートした

「稲毛区支え合いのまち推進計画」

これまでその重点取組項目についてお知らせをしてきましたが、実際に活動し取り組んでいる地区の中から注目の活動をピックアップし、その様子をお伝えしたいと思います。



朝夕に雨戸の開け閉めを手伝うことも

地域見守り活動

～小中台西地区部会エリア～
現代版「向こう三軒両隣」

小中台西地区部会エリアでは、みんなが暮らす地域の中で、現代では失われつつあるご近所同士の目配りや心配りを元にした見守り活動を推進しています。

一言で「見守り活動」と言っても様々な規模や形態があり、それは地域の特性に合わせて様々なエリアでアレンジされ、最適な活動を模索しています。

今回ご紹介する小中台西地区部会エリアでの活動は、大きな組織やグループを作ってローテーションを組むのではなく、ごく自然にお隣さんが挨拶し目配り心配りをする、まさに現代版「向こう三軒両隣」な活動です。

活動を実施している地域の特性としては、戦後間もなくの時期から住宅地として発展し、古くから住んでいる方も多く、戸建てメインの住宅地。

そんな中で一人暮らしのお年寄りのお隣さん、もしくはご近所の方がさりげない見守りを日常の中で行っています。

例えば、雨戸の開け閉めの有無や、お出かけの時の声かけ、はたまたゴミの日に大きくて大変な時のお手伝いを兼ねた活動など。

過干渉にならない範囲で、お互いの気分よく過ごせる範囲を尊重した目配りがその特徴です。

ひと言で「見守り活動」と言っても地域の特性（住居の環境や住民の層など）により様々な方法があり、どれが正解であるとは言えないものですが、小中台西地区部会エリアでの活動は、その最適解の一つなのではないでしょうか。



災害時に備えた避難所の設置・運営 ~301(作草部・天台)地区部会 エリアの取組み~

平成7年の阪神淡路大震災から東日本大震災や、最近では茨城県常総市の水害など、日本各地で大規模な自然災害により重大な被害があったことは記憶に新しく、近年、住民一人ひとりの大規模災害に対する危機意識の高まりや、地域の中での災害への備えが広がってきています。



都賀小学校での避難所開設訓練

発災から3日間(72時間)の混乱期には、住民が生き残るための最低限のことを自分たちで行っていく必要があります、また、避難を余儀なくされた住民が一時的に身を寄せる避難所の重要性も増してきています。

このような中、千葉市は地域主体の避難所開設・運営のために「避難所運営委員会」の設立(稲毛区42か所)を進めており、その中でも今回は災害に備えた取組みを地区部会主導で行っている、301(作草部・天台)地区部会エリアをご紹介します。

301(作草部・天台)地区では、防災対策を地域全体の共通課題として町内自治会の協力を得ながら、平成18年に「防災・防犯マップ」を作成、平成20年には「防災連絡会」を設置、平成25年にはエリア内にある4か所(都賀小・千草台東小・都賀中・都賀公民館)の避難所の開設・運営を地域全体で取り組めるよう『39地区内設置避難所運営委員会』を設置し、包括的に運営することにしました。

そして、各避難所ごとに責任者を決め、災害時の緊急連絡網や備蓄物資・資材の管理や運営マニュアルを定めています。

年一回の避難所開設・運営訓練では、多くの方が参加する中、避難所の開設・運営をイメージしていただくと共に、アンケートを取るなどして課題などの改善を図りながら、「毎日を安心して暮らせるまちづくり」に向けて、地域住民に対して平常時から災害に備えた防災意識を高める活動に取り組んでいます。

◆稲毛区内災害対策レポート◆草野水路の改修 竣工

草野水路治水問題対策会議 座員
(第19地区連協事務係) 井村進

5年前の9月8日。

折からの豪雨で避難所稲毛小体育館は水浸しとなり、稲毛小学校正門前市道では1.2m水が溢れ出ました。

危機感を募らせた地元住民、自治会役員会合を重ね、五千を超える改善要望の署名を集め、千葉市当局と交渉を重ね続けて5年、入札不調もありましたが8月7日関連する工事の一つ、稲毛2丁目、稲毛町5丁目に跨がる稲毛6号橋付け替え工事が竣工し「渡り初め式」がご苦勞の自治会皆様を集めて挙行されました。

一斉に渡った皆様には「渡り初め証」が19地区町内自治会連絡協議会藤川会長から、ご苦勞に『あなたが此の橋を一番に渡る資格があります』と控えめの感謝状。

又、当局の皆様、工事関係者にも同じく感謝状をお渡しし、局事務机に大事に置かれているそうです。

9月30日に全ての工事が終わり、以後、千葉市当局は「草野水路全流域を対象にして、水路付近で観測された雨量と水路に流れ込む水量の観測を行い、この工事の成果確認と併せて科学的に分析を行い今後の対策に臨む」と明言しています。



平成27年8月7日 稲毛6号橋
付け替え竣工「渡り初め式」

支え合いのまち稲毛 No.15 (25年11月11日発行) 及び No.18 (27年3月25日発行) に掲載の
＜“災害時に対応した地域住民の研鑽を図る”～草野水路治水問題対策会議～＞の続報です。